

平成 28 年度 第 2 回今宮工科高等学校・学校協議会（議事録）

日 時：平成 28 年 12 月 19 日 午後 1 時 30 分～

場 所：本校 視聴覚教室

参加者：

<協議委員>（敬称略）

関西福祉科学大学	伊藤 一雄
今工会（本校同窓会）会長	野田 昌洋
(株)エムシステム技研	加納 孝幸（欠席）
萩之茶屋社会福祉協議会会長	田中 康夫
いまみや小中一貫校校長	堀端 和彦（欠席）
P T A 会長	辻本 佳代

1 校長挨拶

2 本校の課題について

- 本年度の生徒の活動について
- 飛翔教室について
- 平成 28 年度進路指導概要について
- 平成 28 年度生徒指導について
- 学校説明会及び中学校訪問について
- 学校教育自己診断について
- その他 文化祭結果

4 課題協議と提言 委：協議会委員 事：事務局（学校側） アンダーライン部：提言

委：町の中で自転車の信号無視や交差点の斜め横断が多く見受けられる。老人や若い母親などにも多いが、生徒から注意喚起をすると効果があるのでは？校外に出での活動もしてはどうか？

委：飛翔教室（生徒の自学自習教室）はよい取り組みである。大学生がきちんと質問等に答えてくれるので、学習効果も上がると思う。これからも続けてもらいたい。

事：創立百周年記念事業の学習支援基金により運営させていただいている。今後も効果が上がるよう工夫しながら続けていきたい。

委：建築関係の中小企業においては現場で働く人を求めている。現場のトイレなど労働環境整備等、中小企業としても努力しているので、是非、男女ともに就職してもらいたい。

委：出前授業の様子はどうか？

事：本校では電気工事など工業の専門実習関係の出前授業を行っており、中学生は一生懸命参加してくれている。

委：遅刻指導ではどのような工夫をしているか？

事：今年度から教室の朝礼（8時30分）より5分早く、正門で8時25分に生活指導としての遅刻指導を行っている。遅刻回数が多く

なった生徒については、個別に早朝登校等の指導している。

委：大学生のアルバイト状況はブラック化しているものもあると聞いている。高校生のアルバイトはどうか？

委：アルバイトが学業に影響を及ぼし、卒業できないということになれば本末転倒である。アルバイトは基本的には家庭の問題と思うが、経済面や健康管理等のことも含め、学校から保護者へ理解を求めることも必要である。

事：アルバイトについては許可制ではなく、届出制としている。今年度の学校教育自己診断の保護者へのアンケートで、生徒のアルバイトの実態を調べてみたいと考えている。保護者の理解を求めながら、家庭と協力して生徒を見ていきたいと考えている。

委：正規雇用とアルバイトの違いなどについて扱った授業のプリントを子どもから見せてもらったことがある。生徒の人生設計に立った内容で授業が行われているとのことで、これからも続けてもらいたい。

事：1年生のキャリアデザインの授業で、そのような内容を扱い、生徒に人生設計を考える機会を持つよう指導している。

委：世間の傾向として、子どもをどうしても大学まで行かせたいという思いを持つ保護者が多い。大学進学には経済的な計画が必要である。また、大学に行ったからといって、就職できるとは限らない。大学からの就職の中身もよく調べておく必要がある。高校から大学に正確な就職状況のデータを要求すべきと考える。就職がしっかり出きる工科高校は自信を持ってほしい。

委：工学系大学進学専科が今年完成年度を迎え、来春初めての卒業生を送り出す。多くの生徒が工学系大学に合格していると説明があった。工科系大学の関係者から、大学の実習等では工科高校出身者がリーダーになることが多いと聞いている。工科高校からの進学にはそういう意味でも意義があると思うので、進学についても頑張ってもらいたい。

委：部活動加入率は？（回答：約60%）部活動は社会に出ても役に立つ。好きなことをやる大事さを知るためにも部活動はやってほしい。

5 事務連絡

○ 次回の予定

第3回 平成29年2月27日（月）10:00～ 課題研究合同発表会

学校長 謝辞